

2014-12-3 牛の皮膚

安全性 鳴重寿人

提出機関：リヨン獣医科大学

症 例：牛 リムジン種
3才 雌

病 歴：

- ・ 重度の高熱、両側角膜炎、結膜炎。
- ・ 粘液膿性の鼻汁。
- ・ 鼻鏡、口腔、蹄、角接合部の潰瘍。
- ・ 削瘦。
- ・ 農場では羊を飼養。



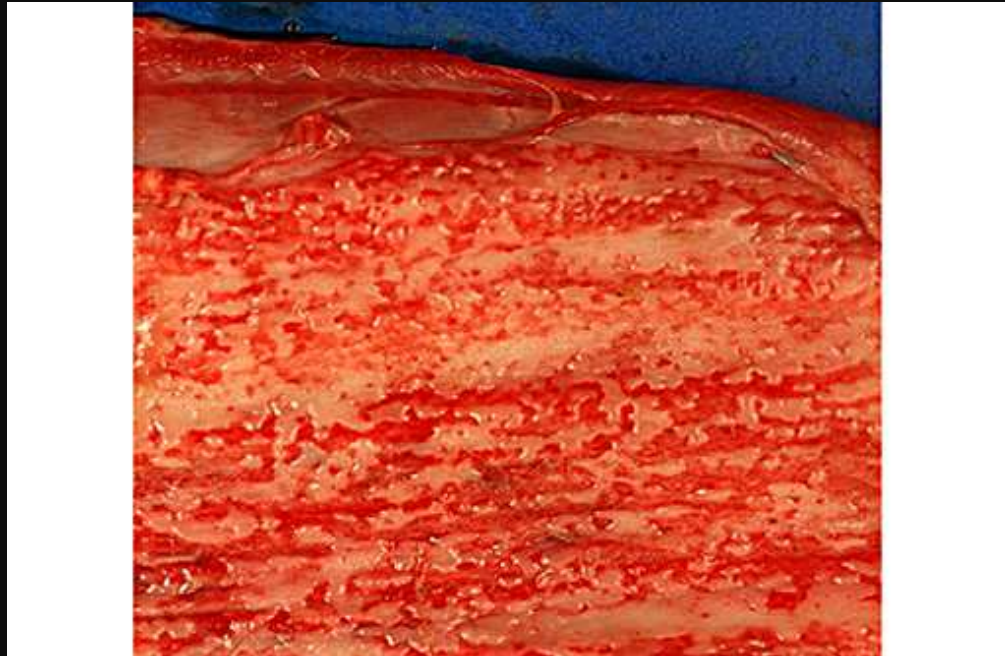
<http://www.americanmeat.jp/index.html>より

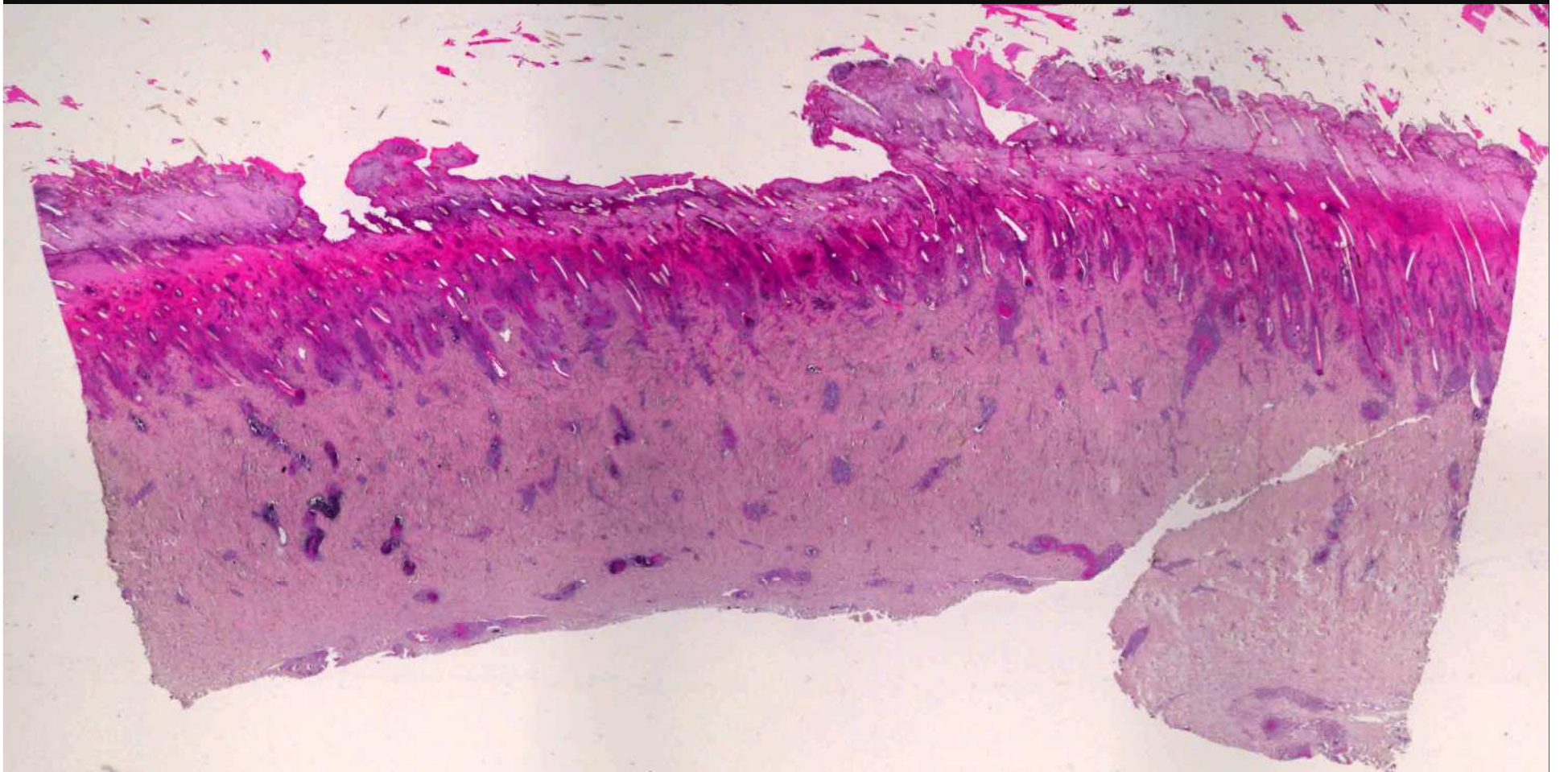
肉眼所見：

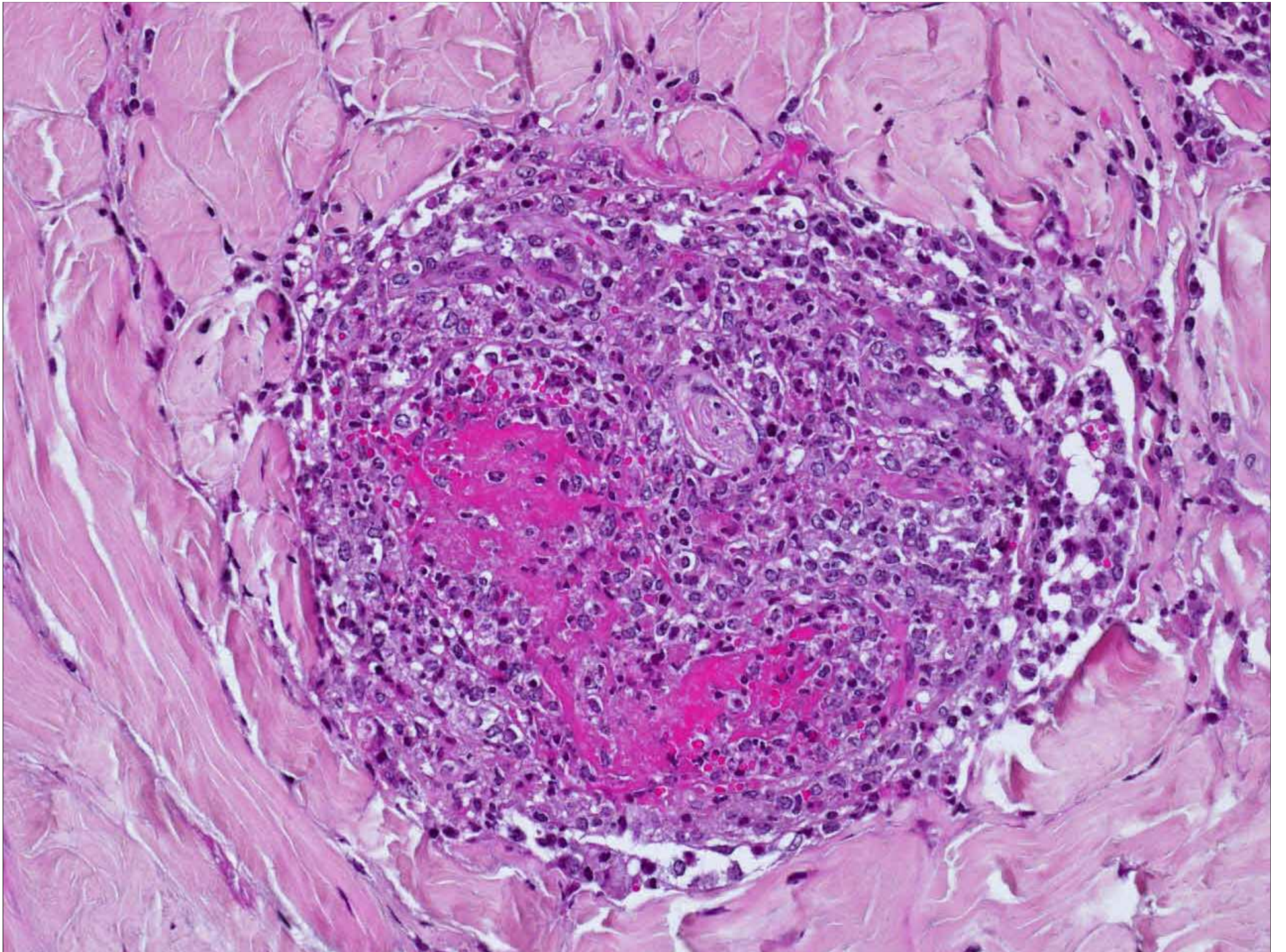
- 1：多病巣性、重度の鼻鏡に痂皮を伴う潰瘍性皮膚炎
- 2：多病巣性からび慢性の皮膚肥厚と毛の粗造を伴う滲出性皮膚炎
- 3：潰瘍性歯肉炎と舌乳頭突起の消失
- 4：食道粘膜に多数の潰瘍
- 5：肩前部のリンパ節腫大
- 6：両側の粘液膿性鼻炎
- 7：顕著な充血性喉頭炎

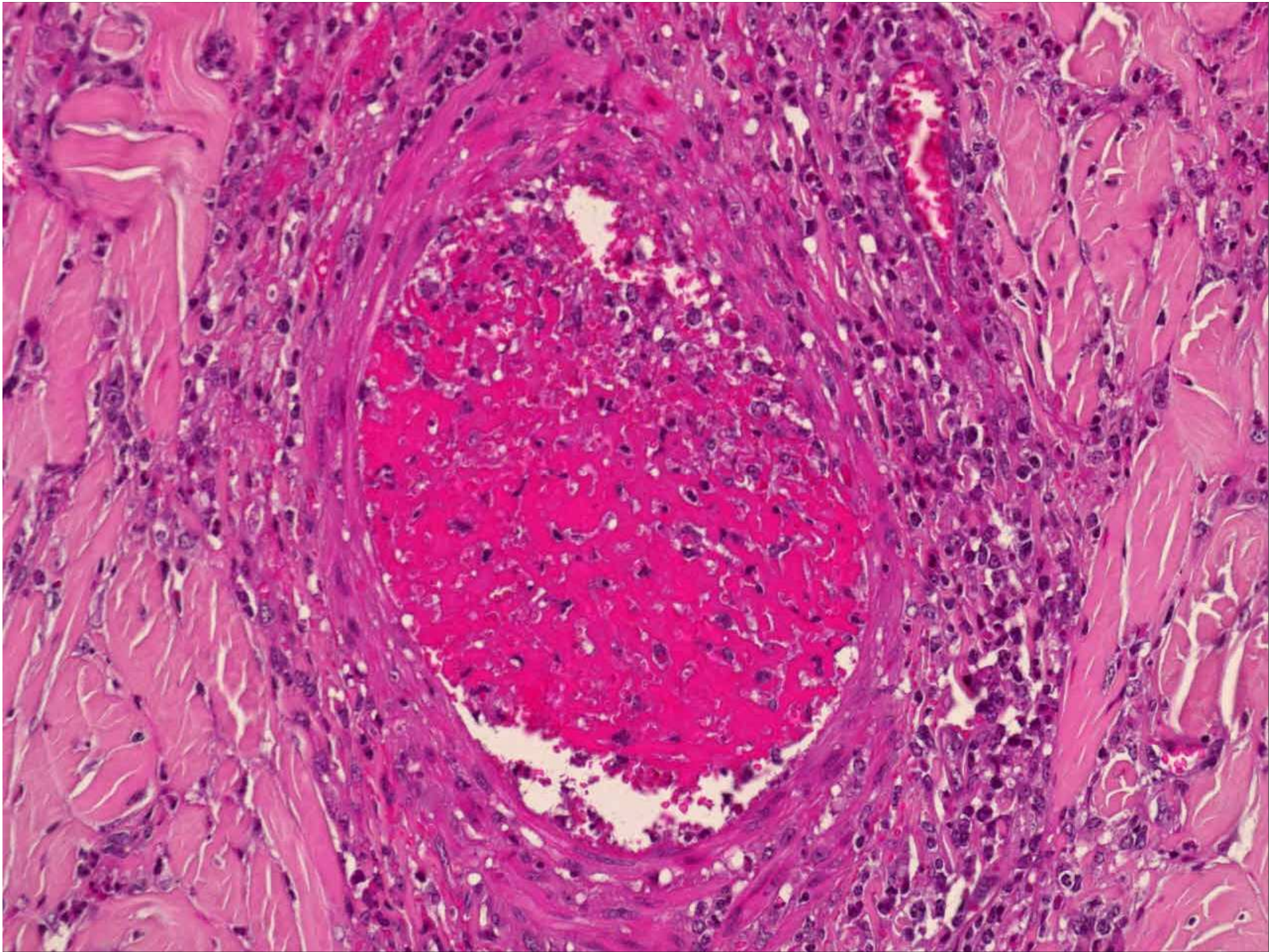
検査結果 (PCR)

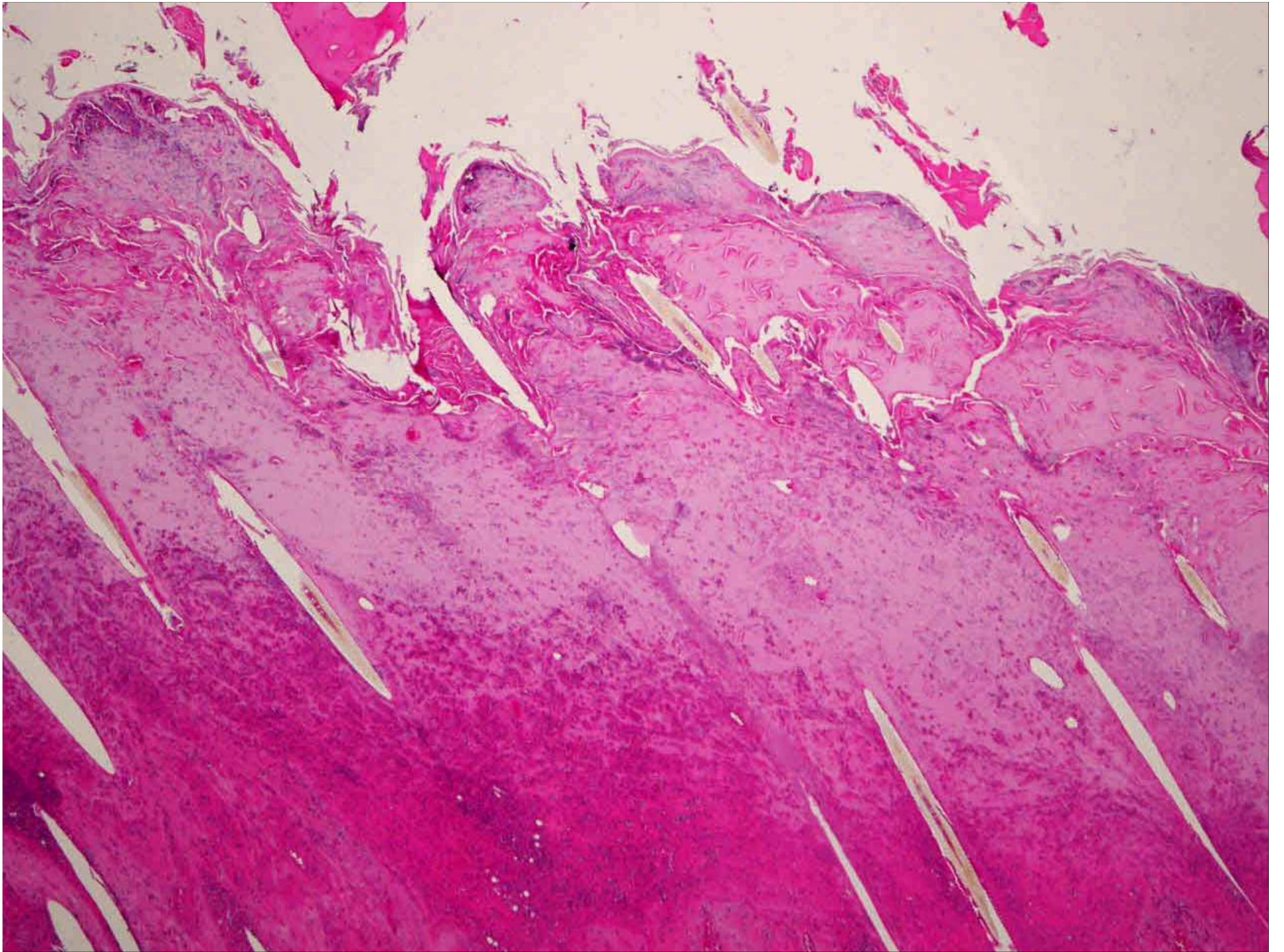
Ovine herpesvirus 2 (OvHV-2) 陽性













提出者の診断

有毛部皮膚：重度の壊死性および潰瘍性皮膚炎、
フィブリン血栓を伴う壊死性血管炎、
リンパ球性血管周囲炎および血管炎、
悪性カタル熱に一致する。牛リムジン種。

Haired skin:

Severe necrotizing and ulcerative dermatitis,
necrotizing vasculitis with fibrin thrombi,
lymphocytic perivasculitis and vasculitis,
consistent with malignant catarrhal fever,
limousine breed, bovine.

JPCの診断

有毛部皮膚：血管炎、壊死性、多病巣性、重度。血栓症、
び慢性の表皮および付属器の壊死（梗塞）を伴う。

Haired skin : Vasculitis, necrotizing, multifocal, severe,
with thrombosis, and diffuse epidermal
and adnexal necrosis (infarct).

提出者のコメント

悪性カタル熱（MCF）ウイルスについて

- MCFウイルスはガンマヘルペスウイルス亜科ラジノウイルス属。
- MCFウイルスで重要なのは、羊を自然宿主とする **Ovine herpesvirus 2 (OvHV-2)** とカモシカ（ヌー）を自然宿主とする **Alcelaphine herpesvirus 1 (AIHV-1)** の二つ。
- MCFは、牛、野生反芻動物、時々豚において通常散発的に発生。ウイルスレゼルボアは症状を示さない。
- 感受性動物への感染は、ウイルスを含むレゼルボアの分泌物に暴露された口、鼻、咽頭、眼からの経口や吸入。
- 感受性の強い種の致死率は100%に至る。
- 牛はdead-end hostとみられ、基本的に牛群内での伝播はない
- 組織学的にリンパ球増生、血管炎、粘膜のびらん/潰瘍および皮膚病変が特徴的。

提出者のコメント

臨床症状パターンについて

臨床型	臨床特徴
甚急性型	重度の口腔・鼻腔粘膜炎症、出血性胃腸炎
消化器型	発熱、下痢、口腔・鼻腔粘膜の大量漿液と粘液膿排出 口腔・鼻腔粘膜の充血、全身性のリンパ節腫脹
頭部眼球型	発熱、大量の漿液から粘液膿性の 眼と鼻の分泌物（鼻鏡を覆い、鼻腔をふさぐほど） 呼吸困難、開口呼吸、 口腔粘膜の充血とびらん、頬側粘膜乳頭の壊死 結膜炎、羞明、眼瞼結膜の充血と水腫 角膜混濁、前房蓄膿（±）
軽度型	軽度の鼻腔・口腔粘膜のびらん

会議のコメント

- 本症例は消化器系に動脈炎、リンパ球増生、粘膜壊死の三つ組を起こしているMCF特有の所見。
→重度のリンパ球性動脈炎-動脈周囲炎と中膜の壊死が特徴。
- 全てのガンマヘルペスウイルスはT細胞またはB細胞に親和性。
- MCFウイルスは選択的にCD8⁺T細胞をターゲットにする。
- 感染したCD8⁺T細胞がウイルスを全身性に拡散。
→炎症性サイトカインを産生し病変を形成。

類症鑑別：急性の粘膜病

- ・ BVD-MD
- ・ ブルータンゲ
- ・ 水疱性口炎
- ・ 口蹄疫
- ・ 光線過敏症

いずれも口腔または消化管の潰瘍の原因になる